

Nakayama

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-142360

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月29日

(51) Int.Cl.⁶
G 0 4 G 1/00
A 6 1 H 39/04
G 0 4 B 37/11
45/00

識別記号
3 1 4

F I
G 0 4 G 1/00 3 1 4 Z
A 6 1 H 39/04 M
G 0 4 B 37/11 Z
45/00 Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-315696

(22) 出願日 平成8年(1996)11月13日

(71) 出願人 597074675

笠松 信久

東京都荒川区西日暮里1丁目28番2号 西

日暮里レジデンス301

(72) 発明者 中山 英和

東京都大田区田園調布4-39-13

(54) 【発明の名称】 経穴を刺激する腕時計

(57) 【要約】

【課題】 日常的に手首への装着で、経穴を断続的に刺激して指圧、はり、灸の効果を得られる腕時計を提供する。

【解決手段】 裏ぶた3の表面に、手首周辺の経穴を刺激できる突起4を設けて腕時計1を構成する。突起4が経穴を押圧、刺激して指圧、はり、灸とほぼ同等の効果をj得る。努力なく装着を継続でき、副作用の心配もない。装着中に移動するので、刺激が断続的で強弱も変化し、良好な刺激が得られる。突起4をピンで構成し、裏ぶた3本体と異なる任意の材質の突起4を容易に形成する。ピンを金又は金合金性にして、装飾的効果を高め、また皮膚への悪影響を回避する。ピンにケース2内の電源から微弱電圧が印加し、電気はりと同様に経穴に効果的に刺激を与える。突起4の配置を変えた数種の裏ぶた3を用意し、症状に応じ任意の裏ぶた3を選択し、時計ケース2に取り付ける。

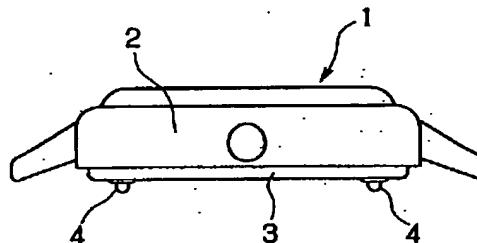


fig 3

【特許請求の範囲】

【請求項1】 裏ふたの表面に、装着時に手首周辺の経穴を刺激可能な突起を設けたことを特徴とする経穴を刺激する腕時計。

【請求項2】 前記突起が、裏ふたに植え込まれたピンで構成されていることを特徴とする請求項1に記載の経穴を刺激する腕時計。

【請求項3】 前記突起が、裏ふたに植え込まれた金又は金合金性のピンで構成されていることを特徴とする請求項1に記載の経穴を刺激する腕時計。

【請求項4】 前記突起を構成するピンが、裏ふたに電気的に絶縁して複数植え込まれ、時計ケース内に収容された電源から少なくとも2つのピン間に微弱電圧が印加されることを特徴とする経穴を刺激する腕時計。

【請求項5】 前記突起の配置、個数の異なる複数の裏ふたが、1つの時計ケースに対して交換可能に取り付けられることを特徴とする請求項1に記載の経穴を刺激する腕時計。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、時計として手首に装着して使用される状態で、裏ふたの表面に突出した突起で手首周辺の経穴を刺激して医学的効用を得られるようにした腕時計に関するものである。

【0002】

【従来の技術】人体の手首周辺には、例えば「外関」、「陽池」、「内関」と称される経穴(ツボ)の他、多くの経穴が存在することが知られている。「陽池」は、手首内側のほぼ中央にあり、その刺激により便秘の改善等に、「外関」は、「陽池」の6cmほど上に位置し、頭痛、感冒、耳鳴り、腕痛、扁桃炎、肥満の改善に、また「内関」は、「外関」の裏側に位置し、胸痛、腹痛、狭心症、心臓部痛、肥満の改善に夫々効果があるといわれている。そして、従来一般に、この種の経穴の刺激は、指圧、はり、灸により行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】指圧、はり、灸は、時と所を選ばずに施療できるものではなく、長期の継続には努力を要する。従って、本発明は、日常的に手首に装着して使用する腕時計で、経穴を断続的に刺激して指圧、はり、灸の効果を得られるようにすることを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明においては、裏ふた3の表面に、装着時に手首周辺の経穴を刺激可能な突起4を設けて腕時計1を構成した。突起4が経穴を押圧、刺激して指圧、はり、灸とほぼ同等の効果が得られる。日常生活に変化を要しないため、装着の継続に努力を要せず、副作用の心配もない。経穴の継続的刺激は却って治療効果を損ねるが、腕時計1は、装

着中にいくらか移動するので、経穴への刺激が断続的で強弱も変化し良好な刺激が得られる。

【0005】請求項2に記載の発明においては、突起4が、裏ふた3に植え込まれたピン5で構成されているので、裏ふた3本体の材質と異なる任意の材質の突起4を容易に形成することができる。

【0006】請求項3に記載の発明においては、突起4を構成するピン5が金又は金合金性で構成されているので、装飾的効果があることに加え、安定した金属であるため皮膚への悪影響を回避することができる。

【0007】請求項4に記載の発明においては、突起4を構成するピン5が、裏ふた3に電気的に絶縁して複数植え込まれ、時計ケース2内に収容された電源から少なくとも2つのピン5、5間に微弱電圧が印加されるように構成されているので、電気はりと同様に経穴により効果的に刺激を与えることができる。

【0008】請求項5に記載の発明においては、夫々異なる経穴に対応する突起4を備えた複数の裏ふた3、3を1つの時計ケース2に対して交換して取り付けられるように構成したので、症状に応じて複数の裏ふた3の中から任意のものを選択し、時計ケース2に装着して使用することができる。

【0009】

【発明の実施の形態】図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。図1は腕時計の側面図、図2は腕時計の裏側の平面図、図3は腕時計の裏ふたの断面図である。

【0010】腕時計1は、ケース2の裏ふた3の表面に突起4を備えている。突起4は、装着時に手首周辺の例えば「外関」、「陽池」、「内関」等の経穴を刺激可能な位置に設けられている。突起4は、裏ふた3の本体と一体に形成してもよいが、例えば図3に示すように、本体と異なる金属製のピン5を植え込んで形成することができる。ピン5を金又は金合金のような化学的に安定した貴金属で形成すれば、装飾的効果が生じると共に、皮膚に悪影響を及ぼす化学的刺激を回避することができる。また、ピン5を裏ふた3の本体に対して、絶縁部材6で電気的に絶縁して植え込み、時計のケース1内に収容した図示しない電池から2つのピン5、5間に微弱電圧を印加するように構成することができるし、夫々異なる経穴に対応するように、異なる位置に突起4を配置した複数の裏ふた3を製作し、1つの時計ケース2に対して交換して取り付けられるように構成することができる。

【0011】

【発明の効果】以上のように、本発明においては、裏ふた3の表面に、装着時に手首周辺の経穴を刺激可能な突起4を設けて腕時計1を構成したため、突起4が経穴を押圧、刺激して指圧、はり、灸とほぼ同等の効果が得られる。日常的に腕時計1を装着するだけで経穴の刺激効果が得られ、副作用の心配もない。腕時計1は、装着中

3

にいくらか移動するので、経穴への刺激が断続的で強弱も変化し、一層良好な刺激が得られる。

【0012】突起4を、裏ぶた3に植え込まれたピン5で構成する場合には、裏ぶた3の本体の材質と異なる任意の材質の突起を容易に形成することができる。

【0013】突起4を構成するピン5を金又は金合金性で構成する場合には、装飾的效果を増すうえ、安定した金属であるため皮膚への悪影響を回避することができる。

【0014】突起4を構成するピン5を、裏ぶた3に電気的に絶縁して設け、ケース2内の電源から微弱電圧が印加するように構成する場合には、電気はりと同様に経穴の刺激効果を一層高めることができる。

【0015】夫々異なる経穴に対応する突起4を備えた複数種類の裏ぶた3を1つの時計ケース3に対して交換

4

して取り付けられるように構成した場合には、症状に応じて任意の裏ぶた3を選択し、時計ケース2に装着して使用することができる等の効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】腕時計の側面図である。

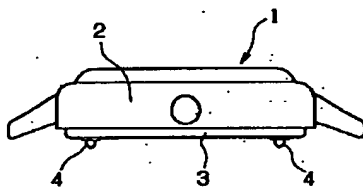
【図2】腕時計の裏側の平面図である。

【図3】腕時計の裏ぶたの断面図である。

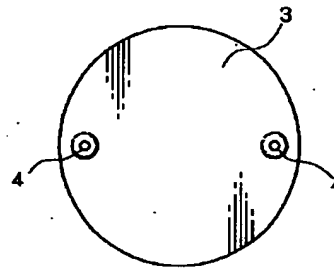
【符号の説明】

- | | |
|---|------|
| 1 | 腕時計 |
| 2 | ケース |
| 3 | 裏ぶた |
| 4 | 突起 |
| 5 | ピン |
| 6 | 絶縁部材 |

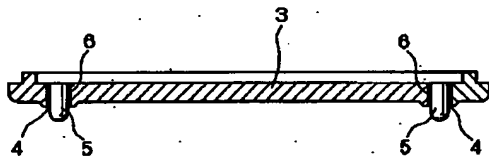
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP410142360A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10142360 A

TITLE: WRIST WATCH STIMULATING MERIDIAN
POINT ON SKIN

PUBN-DATE: May 29, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAYAMA, HIDEKAZU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KASAMATSU NOBUHISA

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08315696

APPL-DATE: November 13, 1996

INT-CL (IPC): G04G001/00, A61H039/04 , G04B037/11 ,
G04B045/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a wrist watch capable of obtaining the effect of acupressure, acupuncture and moxibustion by intermittently stimulating meridian points on skin by daily wearing on the wrist.

SOLUTION: Projections 4 capable of stimulating meridian points on skin around wrist are provided in the surface of a back lid 3 to constitute a wrist watch 1. As the projections 4 push and stimulate the meridian points on skin giving the similar effect to acupressure, acupuncture and

moxibustion. This
can be put on continuously without any effort without ill
effects. As it moves
while putting on, the stimulation intermittently continues
with variation of
strength, which leads to good stimulation. As the
projections 4 are
constituted of pins, the projections 4 with arbitrary
material different from
the back lid 3 main part are formed easily. By making the
pins with gold or
gold alloy to raise ornamental effect, adverse effect on
skin is avoided. Weak
voltage is impressed from the power source in the case 2 to
the pins and
effective stimulation is given to the meridian points on
skin like electric
acupuncture. A few kinds of back lids 3 varying the
arrangement of the
projections 4 are prepared and an arbitrary back lid 3 is
selected in
accordance with symptoms, which is fixed on the watch case
2.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO